# オフ会

小林早苗

## [登場人物]

- A 男性
- B 男性
- C 男性
- D 男性

# [小道具]

- 長髪のヅラ
- ・メイドカチューシャ
- ・ノートPC
- ・プレゼント風の紙袋
- ・歯ブラシ

## (パソコンを片手に抱えてそわそわしている男 A)

A ああ、緊張するなー。初めてだもんなオフ会。でもうれしいよなー。ブログに「たくさんの人がコメントくれたら、感謝をこめてオフ会やりまーす!」って宣言した途端にコメント数が急上昇したもんなー。いやあ、こんなに人気があるとは思わなかったなー。俺が悩めるみんなにアドバイスするブログ、「王子の俺流恋愛作法」。いつも引用する俺の過去は9割妄想だけど…。そういえば女の人からもメールとか結構もらっちゃんだよね。(PCをあける)これこれ、Kana さんに、MAKO さんに、ねこ姫さん。「ファンです!」とか、「ファンですにゃん!」とか書いてくれるし、俺の現実の恋愛絵巻に新たな1ページが加わったりして…。おっと遅れてくる人のために、待ち合わせ場所をブログにアップしとかなきゃ。

楽しそうにうふうふ笑いながら持参した PC を打つ 長髪のズラをかぶった B が背後から近づく。 もしできるならメイドさんが つけてるようなカチューシャもつけるとよし。 ニヤニヤしながらしばらくみている

- A よし! (キーをバシッとおして顔をあげる) うわ!!
- B どーもこんにちはー。はじめまして。
- A え…人違いです。
- B やだーひどいですにゃん。(猫的なポーズ)

- A うわー、一言でいうとおぞましい。
- B わたしですよー。王子さんのファン第一号のねこ姫です。
- A え! いつもコメントとか、メールくれるねこ姫さん?
- B はい! もー、はりきって早く来すぎだゾ! (飛びつく)
- A 突然なれなれしいだろ(思わず顔面に突っ込む)あ、すいません女の子に。
- B いえ、男です。(低い声で)
- A 気持ち悪いな! なんでそんな格好なんだよ。
- B 趣味です。(足を交差させてお姫様がお辞儀をするポーズをとる)
- A うわあ…
- B 姫です。(自分を指さしながらキモいポーズで)
- A キモい!
- B 空です。(空を指さして得意げに)
- A 聞いてないよ! あー、この一連の流れでなんか目にダメージ受けた。
- B これも地球温暖化の影響か…! (空をキっとにらみながら)
- A お前のせいだよ! あ、あの。あなた本当にねこ姫さんなんですか?
- B もちろんですよー。いつもブログみてます。今日はお会いできてうれしいです。 チェキ! (片目の前で横にしたピースサイン)
- A いろいろ言いたいことはあるけど、(じろじろ見て、絞り出すように)醜い…。 まあいいか。 こいつは残念だけど、他にもファンの人は来るんだし。
- B あ、王子さん。実は私、プレゼントもってきたんですよ。
- A え? ほんとですか? ありがとうございます。いやファンからプレゼントとかもらうの初めてで(嬉しそうに)
- B はいこれ、お口に合いますかどうか。
- A なんでも全然食べますよー(袋に手を入れる→歯ブラシがでてくる) …!
- B はは。いやだなあ。食べるって。これは、歯を磨くものですよ。
- A 知ってるよ! さっきの流れだと食べ物出てくるだろ普通は!
- B 普段よく使うものがいいかなと思いまして。
- A まあ使いますけど。
- B でもこれすごい高級なんですよ。特殊なコーティングがしてあって磨き心地が全然ちがうんです。ネットショップでも売り切れ続出なんですよ。
- A へーそうなんだ。 (磨いてみる) ほんとだ歯に当たる感じが…
- B あ、そのブラシの部分に洗剤が塗ってあるんで飲み込まないように気をつけてくださいね。 (さりげなく)
- A おーい! (ブラシを投げ捨てる) 口に入れちゃったよ!殺す気か!
- B いやそれ、もともと床の狭い所とかを掃除するブラシなんですよ。
- A だったら止めろよ! 口に入れた時点で。
- B いや、好きなのかと思って。
- A 好きなわけねーだろ。にがっ! 舌しびれてきた!
- B 大丈夫ですか? (自ら頬を叩いて) いや、大丈夫かにゃん?
- A いいよ言い直さなくて! そこのクオリティにこだわんなくていいから!

- もうなんなんだよお前。
- B 姫です。(姫的なポーズで)
- A それはもういいよ!
- B 猫です。(猫的なポーズで)
- A いいって!
- B そしてこれが俺の本体のハンサム顔だ! (バッとカツラをとる)
- A (一瞬あぜんとした後)あれっお前…田中!?
- B よ! (手を挙げる)
- A ちょ…化粧濃くてわからなかったよ! いや、お前俺のブログ知ってたっけ!?
- B レポートさぼって徹夜でネットみてたらさー、偶然お前のブログ発見して。で、今日オフ会やるって いうから来てみたんだよ。
- A えーマジかよ。わざわざそんな変装して。いつから見てんだよ。
- B 去年の夏。
- A 俺がブログ初めてすぐじゃねーかよ! 恥ずかしいなーもう。まあいいか。 じゃあさ、見たか? コメント欄。ファンが200人だぜ!全員今日きます! って書いてあっただろ、いやー俺もさ、なんかちょっとした有名人の気分に なっちゃって…。
- B いやあれ、全部俺の仕業。
- A え?
- B 気づけよ。口調と名前かえて200人分書き込んでるだけなんだから、調べればわかるだろ。 しかしお前よく恋愛アドバイスとかするよな。高校んときとか好きな子に 「山本くんってなんかチクワに似てる。キモーい」って言われてフラれてたじゃん。
- A それはいうなよ! え、てことは。俺のブログのファンって。
- B いない。ゼロ。悩み相談も全部俺が送ってた。「王子、はじめまして。実は最近バイト先に好きな人ができて、困ってます。その人を見ると、胸がどきどきして、何も手につかなくなっちゃうんです。てへ」。
- A あ~、それ昨日俺が答えた相談じゃん…。
- B それに対するお前の答え。「はじめまして悩める子猫ちゃん。わかるよ。その気持ち。 ぼくも高校生の時に、好きな人ができたとき、なにもかも手につかなかったよ。でも、 アルバイト中によそ見はいけないな。カッコおでこをツンとつつくカッコとじ」。
- A うわーやめてくれ!!
- B ちなみにこのエピソードのリアルな結末は?
- A (泣きながら) 「山本くんって腐ったフィレオフィッシュみたいな人だよね」って言われてふられた…。
- B とんだ王子様ですな。
- A ひどいよお前…俺の心を踏みにじったよ。もうブログやめるわ。
- B まあまあ。また俺が200人分コメントしてやるからさ。
- A もういいよ! (席を立つ)
- B どこいくんだよ。
- A 便所!(退場)
- B あー、ちょっとやりすぎちゃったかな(化粧を落とそうと「ふき取るメイク落とし」を出して顔を拭く。そ

#### の間、なんとなく PC を見ている)

- C (女装した男が登場 B に負けず劣らずな風体) あのー。
- B うお! びっくりした!
- C もしかして、王子さん、ですか?ですよね!
- B え、いやーあのー
- C いやーんイメージ通り! お化粧までしてるなんて最高! 王子は美しくなきゃいけませんもんね!
- B あ、いやこれは…。
- C はじめまして! MAKOです! いつもブログみてます! (大げさにお辞儀する)
- B (驚きながらトイレの方を見て)ブログ見てるの俺だけじゃなかったんだ…。
- C もう、こっち向いてくれなきゃイヤだゾ! (急に抱きつこうとする)
- B 突然なれなれしいだろ(顔に突っ込む)あ、すみません、女の子に。
- C いいえ、男です(低い声で)
- B 気持ち悪いな!
- C ひどーい! 王子なら私の趣味を理解してくれると思ったのに一(つかみかかる)
- B いっしょにすんな! (なんやかんやと騒ぎながら二人でつかみあいになる)
- A (登場) あーあ…うわ! (二人のつかみあいを見て) なにこれ、こわい。
- B あ、おい、ちょっとこれ、お前のファンだって!本物の!
- C 何言ってるんですか! 王子はあなたでしょー。
- A は?え?
- B いやだからちがうって… (A に駆け寄って、3 人でガヤガヤする)
- D (猫耳にサングラスの男が登場) あのー、もしかして王子さんですか?
- ABC え?

## 暗転、完

# ■初演

- ・2009年11月 劇団だるい003「前略疾走」
- ・於 荻窪メガバックスシアター

# ■上演等をご希望の方へ

劇団だるい WEB に記載の台本ご利用上の注意事項をご確認の上お問い合わせください。 URL https://www.gekidandarui.com/contact/



『オフ会』 上演台本集/劇団だるい 003「前略疾走」